(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 実用新案公報 (Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平7-47129

(24) (44)公告日 平成7年(1995)11月1日

(51) IntCl.* 裁別配号 庁内整理番号 FI 技術表示箇所 B 2 1 D 5/02 C

請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号	実顧平2-60920	(71)出額人 999999999	
		横河電機株式会社	
(22)出顧日	平成2年(1990)6月8日	東京都武藏野市中町2丁目9番32号	
		(72)考案者 篭宮 邦夫	
(65)公開番号	実開平4-22118	東京都武蔵野市中町2丁目9番32号	横河
(43)公開日	平成4年(1992)2月24日	電機株式会社内	
		(72)考案者 中沢 輝幸	
		東京都武蔵野市中町2丁目9番32号	横河
		電機株式会社内	
		(72)考案者 新田 幸男	
		東京都武蔵野市中町2丁目9番32号	横河
		電機株式会社内	
		(74)代理人 弁理士 渡辺 正康 (外1名)	
		審査官 川端 佐	

(54) 【考案の名称】 板金曲加工用ベンダー

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】上刃と下刃とを用いて、板金材を所要の角度に折曲げる板金曲加工用ベンダーにおいて、

上刃のホルダーに左右方向に褶動自由に一端が取付けら れ所要単位幅に細分割して形成された複数の分割上刃

と、 該分割上刃に設けられ前記左右方向と一定角度をなす傾 斜面を有する離間彩定用の傾斜部と、

前記上刃のホルダーに設けられ前記分割上刃の前記左右 方向の一方端に設けられたストッパーと、 前記ト刃のホルダーに設けられた2個のガイドピンと。

前記上刃のホルダーに設けられた2個のガイドピンと、 該ガイドピンにガイドされる設定テンプレートと、 該設定テンプレートの所要簡所に設けられ一端が該設定 テンプレートに固定され他端が前記傾斜部に係合し前記 間に所要の隙間を設定する突起部と

を具備したことを特徴とする板金曲加工用ベンダー。 【考案の詳細な説明】

〈産業上の利用分野〉

本考案は、上刃の刃幅、刃と刃の隙間をテンプレートに より任意にワンタッチで変更する事ができ、安全な板金 曲加工用ベンダーに関するものである。

〈従来の技術〉

第11図は従来より一般に使用されている従来例の要部構 10 成説明図、第12図は第11図の側面図である。

図において、1は下刃、2は上刃、3は上刃ホルダーである。 上刃2は、一般には、充分に長い刃を使用して汎用に使 用するか、ワークの曲げ幅に合せた長さの上刃あるいは

152

〈考案が解決しようとする課題〉

- しかしながら、この様な装置においては、 (1) ワークの曲げ形状により上刃の交換が必要であ
- る。したがって、段替え作業が必要となる。 (2) ト刃1の交換には、ト刃1の下に手を入れる為
- に、安全作業上問題がある。

本考案は、この問題点を解決するものである。

本考案の目的は、上刃の刃幅、刃と刃の隙間をテンプレ ートを利用して、任意にワンタッチで変更する事がで き、作業の安全な板金曲加工用ベンダーを提供するにあ 10 る。

〈課題を解決するための手段〉

この目的を達成するために、本考案は、上刃と下刃とを 用いて、板金材を所要の角度に折曲げる板金曲加工用べ ンダーにおいて、

上刃のホルダーに左右方向に褶動自由に一端が取付けら れ所要単位幅に細分割して形成された複数の分割上刃 と、該分割上刃に設けられ前記左右方向と一定角度をな す傾斜面を有する隙間設定用の傾斜部と、前記上刃のホ ルダーに設けられ前記分割上刃の前記左右方向の一方端 20 に設けられたストッパーと、前記上刃のホルダーに設け られた2個のガイドピンと、該ガイドピンにガイドされ る設定テンプレートと、該設定テンプレートの所要箇所 に設けられ一端が該設定テンプレートに固定され他端が 前記傾斜部に係合し前記分割ト刃を前記左右方向に押圧 移動させて前記分割上刃間に所要の隙間を設定する突起 部とを具備したことを特徴とする板金曲加工用ベンダー を構成したものである。

〈作用〉

以上の構成において、上刃ホルダーに、複数の分割上刃 30 をストッパーに密着して並べておく。ガイドピンに所要 の設定テンプレートを挿入する。ガイドピンに所要の設 定テンプレートを挿入すると、設定テンプレートの所要 箇所に固定された突起部の先端が、分割上刃に設けられ た傾斜部に係合して、突起部が係合した分割上刃を左右 方向に押圧移動させて当該分割上刃のあった箇所に所要 の隙間を設定する。

以下、実施例に基づき詳細に説明する。 〈実施例〉

第1図は本者案の一実施例の要部構成説明図で、理解し 40 易くするために設定テンプレートを省略してある。第2 図は第1図の側面図、第3図は第1図のX-X断面図、 第4図は設定テンプレートの平面図、第5図は第4図の 側面図、第6図は第4図の斜視図、第7図,第8図は第 1 図の動作説明図、第9 図, 第10図は第1 図の実際の使 用例の説明図である。

図において、第11図と同一記号の構成は同一機能を表わ す。

以下、第11図と相違部分のみ説明する。

11は上刃のホルダー、12は、第3図に示す如く、図の左 右方向に褶動自由に一端が取付けられ所要単位幅に細分 割して形成された複数の分割上刃である。分割上刃12 は、この場合は、5mm幅が採用されている。

13は、第3図に示す如く、分割上刃12に設けられ図の左 右方向と一定角度をなす傾斜面131を有する隙間設定用 の傾斜部である。

14は、第3回に示す如く、ト刃のホルダー11に設けられ 分割上刃12の左右方向の一方端に設けられたストッパー である。

15は、第2図に示す如く、上刃のホルダー11に設けられ た2個のガイドピンである。

16は、第2図に示す如く、ガイドピン15にガイドされる 設定テンプレートである。

17は、設定テンプレート16の所要箇所に設けられ一端が 設定テンプレート16に固定され他端が傾斜部13に係合 し、分割上刃12を左右方向に押圧移動させて、分割上刃 12間に所要の隙間Cを設定する突起部である。 以上の構成において、

- (1) ト刃ホルダー11に、複数の分割ト刃12を図の左方 向のストッパー14に密着して並べておく。
- (2) ガイドピン15に所要の設定テンプレート16を挿入 する。
- (3) 第7図, 第8図に示す如く、ガイドピン15に所要 の設定テンプレート16を挿入すると、設定テンプレート 16の所要箇所に固定された突起部17の先端が、分割上刃 12に設けられた傾斜部13に係合して、突起部17が係合し た分割ト刃12を左右方向に押圧移動させて、当該分割ト 刃12のあった箇所に所要の隙間18を設定する。
- (4) 以後、必要個数が得られるまで、板金曲加工を行 う。
- (5) 板金曲加工作業が終了すると、設定テンプレート 16を外す。
- (6) 上刃ホルダー11に、複数の分割上刃12を図の左方 向のストッパー14に密着して並べて置く。
- (7) ガイドピン15に所要の別の設定テンプレート16A を挿入して、上記の作業を繰返す。

なお、A.Bはワークを示す。

第9回,第10回に実際の使用例を示す。

この結果、

(1) 上刃12の刃幅、上刃12と上刃12の隙間を所要のテ ンプレート16により任意にワンタッチで変更する事がで き. 段替時間を短縮出来製作コストを低減出来る。

(2) 上刃12の交換が必要で無いので、作業の安全性が 向上出来る。 なお、前述の実施例においては、設定テンプレート16

は、設定したままと説明したが、これに限ることはな く、設定後、抜取っても良いことは勿論である。

また、分割上刃12の幅は任意の幅でよく、幅の寸法が異

〈考案の効果〉

以上説明したように、本考案は、上刃と下刃とを用いて、板金材を所要の角度に折曲げる板金曲加工用ペンダーにおいて、

上刃のホルダーに左右方向に褶動自由に一端が取付けられ所要単位幅に細分削して形成された複数の分割上刃と、該分割上刃に最けられ前正右右方向と一定角度をなす傾斜面を有する隙間設定用の傾斜部と、前記上刃のホルダーに設けられ前記分割上刃の前記左右方向の一方端に設けられたストッパーと、前記上刃のホルダーに設け 10られた2個のガイドピンと、該ガイドピンにガイドされる設定テンプレートと、該設定テンプレートの所要協所に設けられ一端が該設定テンプレートに固定され他端が前記傾斜部に係合し約記分割上刃を前記左右方向に押圧移動させて前記分割上刃間に所要の隙間を設定する突起部とを具備したことを特徴とする板金曲加工用ベンダーを構成した。

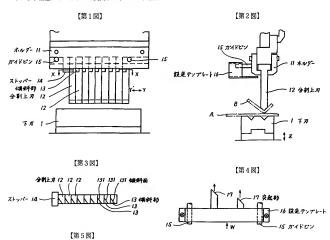
この結果、

(1)上刃の刃幅、上刃と上刃の隙間を所要のテンプレートにより任意にワンタッチで変更する事ができ、段替*20

- *時間を短縮出来製作コストを低減出来る。
- (2)上刃の交換が必要で無いので、作業の安全性が向 上出来る。

従って、本考案によれば、上刃の刃幅、刃と刃の隙間を テンプレートにより任意にワンタッチで変更する事がで き、安全な板金曲加工用ペンダーを実現することが出来 る。

【図面の簡単な説明】



16 段走テンプレート

15 makery

